

第09-G4号

2009.7.1

小田急グループの「日本の素敵、再発見」プロジェクト第二弾  
「小田急がセレクトした日本の食と文化 東北篇」を  
7月8日(水)から7月21日(火)まで開催します

小田急グループでは、経済産業省・中小企業庁および独立行政法人中小企業基盤整備機構が推進する地域活性化施策と連携し、「小田急グループの『日本の素敵、再発見』プロジェクト」の第二弾企画として、2009年7月8日(水)～21日(火)まで、小田急百貨店、小田急O×ストアをはじめグループ5社39店舗において、「小田急がセレクトした日本の食と文化 東北篇」を開催します。

このプロジェクトは、小田急グループが事業ビジョンに掲げる「『上質と感動』をもたらす商品・サービスの提供」ならびに、各地域の中小企業を販路開拓の面から支援することで地域の活性化に貢献することを目的とし、中小企業地域資源活用プログラムをはじめ、農商工連携事業、新連携事業などと連携して、沿線のお客さまに対し、継続的に日本国内各地域の隠れた逸品をご紹介します。

第二弾企画となる「小田急がセレクトした日本の食と文化 東北篇」では、豊かな自然に恵まれ、お米や大豆の産地として知られる東北エリアにスポットをあて、日本酒や豆腐など、お米や大豆を使った加工品をはじめ、発酵食品、海産加工品などをグループの百貨店、スーパー、ホテル、レストラン、ゴルフ場において提供します。また、小田急百貨店では、これらに加え東北のテーブルウェアや漆器、まげわっぱなどの商品も取り扱います。

また、今回の企画では、出展企業の裾野を広げ、沿線のお客さまにより質の高い、豊富な商品を提供するため、各地域活性化施策の認定企業および候補企業に加え、社団法人東北地区信用金庫協会および信金中央金庫の協力を得て、信用金庫の取引企業も出展しています。

さらに、この企画は、農商工連携や地域産品等に係る中小企業の商品品質向上や販路開拓・拡大を目指して経済産業省・中小企業庁が推進する「出会う、ふれあう、地域の魅力」キャンペーンとも連携しています。

「小田急がセレクトした日本の食と文化 東北篇」の概要は、次のとおりです。



山ぶどうワイン(岩手県)



黒毛和牛極とろカレー(山形県)



ブナコ漆器(青森県)



\*展開する商品は、中小企業地域資源活用促進法ならびに、農商工等連携促進法、中小企業新事業活動促進法に基づく認定事業者の商品のほか、対象エリアから小田急グループ各社が厳選した商品を含みます。なお、取扱商品および提供方法は、店舗によって異なります。

<参 考>

小田急グループでは、これまで小田急百貨店において、国内ブランドの活性化を支援しつつ、同時に差異化商品を開発する独自の取り組みを2004年から進めていました。このアプローチが国策である地域資源振興策の目的と重なり、2007年11月に中小企業庁が推進する「中小企業地域資源活用プログラム」に参画し、現在小田急百貨店を含めたグループ9社が「地域資源パートナー制度」に登録しています。

以 上